

結 果 の 概 要

1 結果の要約

(1) 出生数は減少

出生数は5,914人で、前年の6,011人から97人減少し、出生率(人口千対)は8.1で、前年の8.2を下回った(全国第33位)。

合計特殊出生率は前年と同率の1.53で全国第5位(昨年は第3位)であった。1位は沖縄県(1.75)、2位は宮崎県(1.59)、3位は熊本県及び鹿児島県(1.54)である。

(2) 死亡数は増加

死亡数は8,660人で、前年の8,453人から207人増加した。死亡率(人口千対)は11.9で前年の11.5を上回った(全国第2位)。

死因別にみると、死因順位の第1位は悪性新生物、第2位は心疾患、第3位は脳血管疾患となっている。全死亡に占める割合はそれぞれ29.0%、15.5%、11.4%であり、前年に引き続き死亡者のおよそ3人に1人は悪性新生物で死亡したことになる。

(3) 自然増加数は減少

出生と死亡の差である自然増加数は2,746人で、前年の2,442人から304人減少し、自然増加率(人口千対)は3.8で、前年の3.3から0.5低下した(全国第45位)。本県は平成4年以降、死亡数が出生数を上回る自然減となっている。

(4) 死産数は減少

死産数は155胎で、前年の160胎から5胎減少し、死産率(出産(出生+死産)千対)は、25.5で前年の25.9を下回った。

(5) 婚姻件数は減少

婚姻件数は、3,203組で、前年の3,305組から102組減少し、婚姻率(人口千対)は、4.4で前年の4.5を0.1下回った(全国第46位)。

平均初婚年齢は夫29.5歳、妻27.8歳で、夫は前年と同じ、妻は前年に比べて0.3歳上昇した。(全国平均は夫30.1歳、妻28.3歳)

(6) 離婚件数は減少

離婚件数は1,119組で、前年の1,199組から80組減少し、離婚率は(人口千対)1.54で前年の1.64を下回った(全国第45位)。

表1 人口動態総覧

	実数			率		平均発生間隔	
	平成19年	平成18年	対前年増減	平成19年	平成18年	平成19年	平成18年
出生	5,914	6,011	97	8.1	8.2	1時間28分52秒	1時間27分26秒
死亡	8,660	8,453	207	11.9	11.5	1時間42秒	1時間2分11秒
乳児死亡	13	16	3	2.2	2.7	28日1時間50分46秒	22日19時間30分
新生児死亡	6	8	2	1.0	1.3	60日20時間	45日15時間
自然増加	2,746	2,442	304	3.8	3.3
死産	155	160	5	25.5	25.9	2日8時間30分58秒	2日6時間45分
自然死産	67	56	11	11.0	9.1	5日10時間44分47秒	6日12時間25分43秒
人工死産	88	104	16	14.5	16.9	4日3時間32分44秒	3日12時間13分51秒
周産期死亡	31	24	7	5.2	4.0	11日12時間34分50秒	15日5時間
妊娠22週以後の死産	27	18	9	4.5	3.0	13日12時間26分40秒	20日6時間40分
早期新生児死亡	4	6	2	0.7	1.0	91日6時間	60日20時間
婚姻	3,203	3,305	102	4.4	4.5	2時間44分6秒	2時間39分2秒
離婚	1,119	1,199	80	1.54	1.64	7時間49分42秒	7時間18分22秒

	平成19年	平成18年
合計特殊出生率*	1.53	1.53

*分母に用いた人口
総人口(総務省推計)

注：出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対。乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対。死産率は出産(出生+死産)千対。周産期死亡・妊娠満22週以後の死産率は出産(出生+妊娠満22週以後の死産)千対である。